



高校を卒業後、札幌市内の電気工事会社に就職後、医療系企業で営業職を経験し、再び電気工事店に転職し独立。「さまざまな施工管理の業務を通して設備ごとのニーズの違い

業界の窓

を経験した。エネルギーの「見える化」という言葉が一般化する前から、エネルギーマネジメントシステム(EMS)を独自に開発した。全国のイオンなど商業施設へ自社システムによるエネルギーの見える化と自動制御による省エネを導入。今後は電気設備からEMSを軸に取り組んでいる。地震等による大規模停電の経験から、新たに非常時に電源車で駆

非常時に電源車で電力供給

北海道電気相互

高橋 伸和代表取締役

けつける電力供給サービスを開始した。「自家発電を設けなくても、必要な時に必要な電気が来るイメージ」。設備投資と維持費を最小限に抑えることができることから、中小医療機関や介護施設に向けて、複数のプランを用意している。「少数のスタッフがシステム開発からメンテナンス、各種相談まで一貫して対応しており、個別のニーズに対応できる」と話す。